

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1199年	9月18日	正治一年	八月十九日	洪水	明月記	日本の気象史料	越部庄去十九日洪水
1199年	9月19日	正治一年	八月二十日	洪水	業資王記	日本の気象史料	洪水云々
1199年	9月23日	正治一年	八月二十四日	疫病	明月記	史料 4-6-232	咳病此間無術、仍心神猶不復例
1199年	9月23日	正治一年	八月二十四日	防災	業資王記	史料 4-6-246	止雨奉幣
1199年	9月24日	正治一年	八月二十五日	疫病	明月記	史料 4-6-233	咳病殊辛苦
1199年	10月1日	正治一年	九月三日	その他	明月記	史料 4-6-247	自西、自東、聞損亡之由、門々戸々無不愁悶云々、明年革命已以在眼歟、不運之身命何為乎云々…家中今月以後惣無所憑、日夜仰天云々
1199年	10月6日	正治一年	九月八日	防災	業資王記	史料 4-6-246	被発遣止雨奉幣使云々、七社
1199年	10月18日	正治一年	九月二十日	防災	明月記	史料 4-6-248	止雨奉幣
1199年	10月18日	正治一年	九月二十日	防災	百鍊鈔	史料 4-6-248	被立十社奉幣使、依霖雨御祈也
1199年	10月18日	正治一年	九月二十日	防災	師守記	史料 4-6-249	被立十社奉幣使…依止雨御祈也
1199年	10月18日	正治一年	九月二十日	防災	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	被立十社幣使…依止雨御祈也、
1199年	10月21日	正治一年	九月二十三日	防災	師守記	史料 4-6-249	被定東大…御読経事、是為止雨御祈
1199年	10月21日	正治一年	九月二十三日	防災	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	被定東・延暦・興福寺御読経事、是為止雨御祈…
1199年	10月22日	正治一年	九月二十四日	その他：大雨	明月記	史料 4-6-248	夜大風甚雨…未時以後大風猛烈、昏黒以後雨如注
1199年	10月24日	正治一年	九月二十六日	防災	百鍊鈔	史料 4-6-248	限三箇日、於東大興福寺延暦寺…霖雨御祈也
1199年	10月26日	正治一年	九月二十八日	防災	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	被発遣止雨祈六社奉幣使…、是去十八日依霖雨被行軒廊御ト之故也、
1200年	11月3日	正治二年	九月十八日	旱魃・渇水	祈雨日記	続群書類従 25 下 -P240	又今年有請雨経法御請、
1201年		正治三年		洪水	吾妻鏡	日本震災凶謹攷	京都及び諸国大洪水
1201年	9月1日	建仁一年	七月二十五日	旱魃・渇水	三長記	増補史料大成 31-P70	晴、此間、炎暑殊甚、
1201年	9月4日	建仁一年	七月二十八日	防災	三長記	史料 4-7-77	今日被発遣祈雨奉幣使
1201年	9月4日	建仁一年	七月二十八日	防災	三長記	増補史料大成 31-P71	晴、今日、被発遣祈雨奉幣使、…
1201年	9月26日	建仁一年	八月二十一日	防災：その他	三長記	増補史料大成 31-P80	雨降、内大臣御札到来、止雨奉幣可申行者、
1201年	9月27日	建仁一年	八月二十二日	防災：その他	三長記	日本凶荒史考	甚雨、今日被行雨奉幣
1201年	9月27日	建仁一年	八月二十二日	防災：その他	三長記	増補史料大成 31-P80	甚雨、今日被行雨奉幣
1201年	12月9日	建仁一年	十一月五日	火災	皇年代略記	日本災異志	六角堂火
1202年	6月21日	建仁二年	五月二十三日	冷害・雪害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P52	寒氷降る、其勢寸余云々、
1202年	7月19日	建仁二年	六月二十一日	洪水	明月記	新修彦根市史 5	去後大雨如注、辰時許出京参日吉…大津辺湖水乃室宇、仍召出吉富ト井丸船乗、自戸津騎馬…
1203年	1月11日	建仁三年	十二月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	院御所二條殿火
1203年	12月11日	建仁三年	十月	火災	明月記	日本災異志	京師火
1204年	8月26日	元久一年	七月二十三日	風害：冷害・雪害	皇年代略記	新校群書類従 2-P200	大風・雷鳴・寒氷降、
1204年	4, 5月 (4.9-5.8)	元久一年	三月	風害	本朝年代記	日本震災凶謹攷	畿内及び諸国大風被害多し
1205年	11月22日	元久二年	十月三日	風害：冷害・雪害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P53	大風雷鳴寒氷降、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1206年	6月14日	建永一年	四月二十九日	防災	三長記	増補史料大成 31-P113	今日、有止雨奉幣、
1206年	6月18日	建永一年	五月四日	防災：疫病	百鍊抄十一	史料 4-9-4	被発遣廿二社奉幣使、依庖瘡御祈也 廿二社奉幣事、此間頓死之者多有其聞、 又去春庖瘡、此間も少々有其聞、仍有 此事也、霖雨之由被載宣命辞別、… 温病天下流行、以此法治之…
1206年	6月18日	建永一年	五月四日	防災：疫病	猪隈関白記 二三	史料 4-9-4	
1206年	6月25日	建永一年	五月十一日	疫病	高山寺文書 六	史料 4-9-436	
1206年	9月13日	建永一年	八月二日	防災	三長記	史料 4-9-166	今日有止雨奉幣
1206年	9月13日	建永一年	八月二日	防災	三長記	増補史料大成 31-P144	今日、有止雨奉幣
1207年	5月21日	承元一年	四月五日	火災	明月記	日本災異志	京都師火
1207年	5月28日	承元一年	四月二十三日	防災	醍醐寺座主 次第	史料 4-9-671	建永二年四月廿二日於清滝宮祈雨…
1207年	8月7日	承元一年	七月五日	その他：風害	仲資王記	史料 4-9-915	今日大風深雨也
1207年	8月7日	承元一年	七月五日	風害：その他	明月記三一	史料 4-9-915	大風猛烈折木発屋夜大雨
1207年	8月21日	承元一年	七月十九日	その他：風害	猪隈関白記 二五	史料 4-9-747	未剋許大雨大風経二時
1207年	8月21日	承元一年	七月十九日	風害：その他	明月記三一	史料 4-9-748	天晴未後大風雨、折木発屋、揚沙石、 年来之間所不見聞也、荒屋皆破損、更 非筆端所及、入夜々止
1207年	8月21日	承元一年	七月十九日	風害	仲資王記	史料 4-9-748	大風拔木
1207年	8月25日	承元一年	七月二十三日	風害	猪隈関白記 二五	史料 4-9-747	大風清水寺廻廊顛倒、童一人被打殺 云々
1207年	8月27日	承元一年	七月二十五日	火災	一語一言	日本災異志	大内火
1207年	9月20日	承元一年	八月二十日	疫病	猪隈関白記 二五	史料 4-9-730	白去夏比、庖瘡貴賤上下一同有此事
1207年	10月20日	承元一年	九月二十日	火災	皇年代略記	日本災異志	中宮御所火
1208年	1月10日	承元二年	十一月二十七日	火災	明月記	日本災異志	閑院火
1208年	5月12日	承元二年	四月十九日	冷害・雪害	猪隈関白記 二七	史料 4-10-915	早旦雨雹交降、小雷鳴暫止
1208年	5月12日	承元二年	四月十九日	大雨	明月記三三	史料 4-10-38	大雨雷鳴即止
1208年	5月16日	承元二年	四月二十三日	大雨	猪隈関白記 二七	史料 4-10-37	大雷雨
1208年	5月16日	承元二年	四月二十三日	冷害・雪害	明月記三三	史料 4-10-38	遅明忽雷電雹降、猛烈少時休
1208年	7月6日	承元二年	五月十五日	火災	皇年代略記	日本災異志	京都雷火
1208年	7月6日	承元二年	五月十五日	火災	明月記三三	史料 4-10-105	午時許大雨雷鳴猛烈…大雨如灑、此間 東方煙忽見、人云九重塔云々
1208年	7月6日	承元二年	五月十五日	火災	愚管抄六	史料 4-10-106	法勝寺ノ九重塔ノ上二雷オチテ火付テ 焼ニケリ
1208年	11月16日	承元二年	九月二十九日	火災	明月記	日本災異志	朱雀門火
1209年	5月21日	承元三年	四月九日	火災	皇年代略記	日本災異志	行願寺、誓願寺等火
1209年	11月3日	承元三年	九月二十七日	防災：その他	猪隈関白記 三一	史料 4-10-637	去夜今日甚雨猶不止、今日有止雨奉幣
1210年	3月4日	承元四年	二月	火災	百鍊抄	日本災異志	賀陽院馬場殿火
1210年	6月22日	承元四年	五月二十二日	防災	猪隈関白記 三二	史料 4-10-810	今日有止雨奉幣
1210年	6月25日	承元四年	五月二十五日	防災	猪隈関白記 三二	史料 4-10-810	今日有止雨奉幣事
1211年		建暦一年		火災	年代記抄節	日本災異志	京都大火
1213年	10月9日	建保一年	九月十七日	地震	皇帝紀抄七	新校群書類 従 2-P298	大地震、有声、
1213年	12月5日	建保一年	十月十五日	火災	明月記	日本災異志	京都大火
1213年	5, 6月 (5.29-6.26)	建暦三年	五月	風害	武家年代記 裏書	続史料大成 18	朱雀門、為大風吹倒、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1214年	5月20日	建保二年	四月三日	地震	皇帝紀抄七	新校群書類 従 2-P298	今夜亥時大地震、
1214年	5月30日	建保二年	四月十三日	防災：その他	歴代宸記 (後鳥羽院 宸記)	増補史料大 成 1-220	近日連々雨降、雖非洪水、此間連雨、 民頗有憂気云々、仍去十一日令発遣止 雨奉幣、然而猶時々如此、且如當時者、 (雖脱力) 不及国土愁、能々可有祈請 時也、申刻雨止、…
1214年	5月30日	建保二年	四月十三日	防災：その他	後鳥羽院宸 記	改定史籍集 覧 24-P114	近日、連々雨降、雖非洪水、此間連雨、 民頗不受気云々、仍去十一日、令発遣 止雨奉幣、
1214年	7月14日	建保二年	五月二十八日	風害	如是院年代 記	新校群書類 従 2-P261	朱雀門、為大風、所吹倒、
1214年	7月16日	建保二年	五月	火災	皇年代略記	日本災異志	新院大炊御門殿火
1214年	7月26日	建保二年	六月十一日	火災	年代記抄節	日本災異志	嵯峨釋迦堂火
1214年	9月22日	建保二年	八月十日	風害	明月記	日本震災凶 鐘攷	京都鎌倉大風雨、屋舎倒壊す
1214年	9月22日	建保二年	八月十日	風害	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P53	大風大雨、尊勝寺大門顛倒、
1214年	9月22日	建保二年	八月十日	風害	皇帝紀抄七	新校群書類 従 2-P299	雨降、大風吹、洛中舎屋破損顛倒、不 可勝計、尊勝寺南大門顛倒、
1214年	9月28日	建暦四年	八月十六日	風害	仁和寺御日 次記	続群書類従 29 下 -P336	今夜大風、〈神祇官東院…悉以顛倒、 在々所所、無全所、〉
1214年	10, 11月 (10.12-11.10)	建保二年	九月	風害	立川寺年代 記	続群書類従 29 下 -P213	大風吹、朱雀門倒、
1214年	12, 1月 (12.10-1.8)	建保二年	十一月	火災	百鍊抄	日本災異志	京極殿火
1215年	3月22日	建保三年	二月十四日	洪水	皇帝紀抄七	新校群書類 従 2-P299	大原野祭也、依洪水、上卿弁内侍等、 自桂川歸京、
1215年	7月11日	建保三年	六月六日	防災	東寺王代記	続群書類従 29 下 -P62	於神泉、修請雨經法、
1215年	10月5日	建暦五年	九月四日	風害	仁和寺御日 次記	続群書類従 29 下 -P336	自昨日、大風雨、〈今晚朱雀門…等顛倒、 所々過半損亡云々〉
1216年	2月3日	建保四年	一月七日	火災	仁和寺日次 記	日本災異志	桂宮火
1216年	10月6日	建保四年	八月十六日	風害	後愚昧記	大日本史料 6-38	自戌時、及子刻、大風、堂塔舎屋多以 破損、樹木顛倒、外記庁桧樹被吹倒、 官庁南門、大炊寮門等顛倒、
1216年	10月18日	建保四年	八月二十八日	洪水：風害	皇年代記 仁和寺日記	日本震災凶 鐘攷	京都及び諸国大風洪水、外記庁及び官 庁寺院多く倒れ人畜多死
1216年	10月18日	建保四年	八月二十八日	風害	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P54	大風、外記庁・官庁以下顛倒
1216年	10月18日	建保四年	八月二十八日	風害	皇年代略記	新校群書類 従 2-P201	大風、外記庁官庁已下顛倒
1217年	6月15日	建保五年	五月三日	風害	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P54	大雨大風、朱雀門・左近府門等顛倒、
1217年	6月15日	建保五年	五月三日	風害	皇年代略記	新校群書類 従 2-P201	大雨大風、朱雀門左近府門等顛倒、
1217年	9月26日	建保五年	八月十七日	風害	皇帝紀抄	日本震災凶 鐘攷	大風
1217年	10月7日	建保五年	八月二十八日	風害	皇帝紀抄	日本震災凶 鐘攷	大風
1217年	10月11日	建保五年	九月三日	風害	百鍊抄	日本の気象 史料	雨降大風、朱雀門并左近府南門顛倒
1217年	10月11日	建保五年	九月三日	風害	皇帝紀抄七	新校群書類 従 2-P300	大風、朱雀門、并左近府南門顛倒
1217年	10月12日	建保五年	九月四日	風害	武家年代記 裏書	続史料大成 18	大風、北野社一夜吹頓
1218年	5月26日	建保六年	四月二十三日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	京都焼亡及百餘町
1219年	5月14日	建保七年	三月二十二日	防災	仁和寺御日 次記	続群書類従 29 下 -P341	被行神泉御経〈…雨沢不降〉
1219年	5月24日	承久一年	四月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	法成寺薬師堂以下火
1219年	5月30日	建保七年	四月八日	防災	東寺王代記	続群書類従 29 下 -P62	於神泉、修請雨經法、十六日大雨、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1219年	5月30日	承久一年	四月八日	防災	仁和寺御日次記	続群書類従 29 下 -P341	於神泉苑、修請雨經法、修中雨降、…
1219年	8月31日	承久一年	七月十三日	火災	皇年代略記	日本災異志	大内火
1219年	9月8日	承久一年	七月二十一日	風害	百鍊抄	史料 4-14-176	自辰大風、神祇官南庁右近馬場之屋顛倒了
1219年	9月8日	承久一年	七月二十一日	その他：風害	本朝年代記	日本震災凶饉攷	大風
1219年	12月16日	承久一年	十一月一日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	大原野社火
1220年	1月11日	承久一年	十一月二十七日	火災	皇年代略記	日本災異志	京都白河火、御願寺多焼亡」
1220年	5月23日	承久二年	四月十三日	火災	皇年代略記	日本災異志	祇園社焼亡
1220年	5月27日	承久二年	四月十七日	火災	皇年代略記	日本災異志	陽明門左近左衛門府等火
1221年	3月12日	承久三年	二月十日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	三條殿焼亡
1221年	4月11日	承久三年	三月十日	火災	百鍊抄	日本災異志	宗像社火
1221年	6月8日	承久三年	五月十日	火災	皇年代略記	日本災異志	大炊殿火
1221年	6月13日	承久三年	五月十五日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	六角西洞院火
1221年	11月23日	承久三年	十月一日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	蓮華藏院塔焼亡
1222年	1月9日	貞応一年	十一月二十九日	火災	皇年代略記	日本災異志	松尾神社火
1222年	3月25日	貞応一年	四月六日	火災	百鍊抄	日本災異志	六條西洞院火
1222年	7月7日	貞応一年	五月二十日	火災	百鍊抄	日本災異志	松尾竈神殿竇火
1222年	8月17日	貞応一年	七月二日	火災	百鍊抄	日本災異志	土御門萬里小路火
1223年	2月20日	貞応二年	一月十二日	火災	皇年代略記	日本災異志	高陽院殿火
1226年		嘉禄二年		疫病	年代記抄	日本震災凶饉攷	疫疾大に行はる
1226年	7月8日	嘉禄二年	六月四日	火災	帝王編年記	日本災異志	夜、最勝光院火
1226年	8月11日	嘉禄二年	七月十日	風害	皇年代略記	新校群書類従 2-P202	大風大雨、左近府門顛倒
1226年	8月15日	嘉禄二年	七月十四日	風害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P55	大風大雨、左近府門顛倒、
1226年	8月15日	嘉禄二年	七月十四日	風害	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P304	大風雨之間、左近府南門顛倒、
1226年	9月26日	嘉禄二年	八月二十六日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	夜半官交殿焼亡、累代文書以下火烟
1227年	6月14日	安貞一年	四月二十二日	火災	帝王編年記	日本災異志	京師大火延及大内
1227年	11月24日	嘉禄三年	十月七日	風害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P55	大風、京中民屋等顛倒、
1228年	8月28日	安貞二年	七月二十日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P202	洛中洪水、
1228年	8月28日	安貞二年	七月二十日	洪水	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P304	自去夕、大雨降、賀茂辺在家多流失、人多流死、永承以後、第一洪水云々、
1228年	11月12日	安貞二年	十月七日	風害	皇年代略記	新校群書類従 2-P202	大風、京中民屋等顛倒、
1230年	3月29日	寛喜二年	二月七日	疫病	岩清水文書	鎌 3955	〔後堀河天皇宣命〕…近日地維屢振比、雷電自鳴留、加之、都鄙乃間尔、疾病流行乃由乎聞食驚俱処尔…
1230年	4月5日	寛喜二年	二月十四日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	蓮光院火
1230年	7月13日	寛喜二年	五月二十四日	火災	皇帝紀抄	日本災異志	四條壬生火
1230年	10月22日	寛喜二年	九月八日	風害	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P305	大風雨之間、伊勢太神宮内外院前口并殿舎等顛倒、
1231年		寛喜三年		疫病	武家年代記裏書	続史料大成 18	天下大飢饉、疾疫、
1231年	6月4日	寛喜三年	四月二十五日	火災	百鍊抄	日本災異志	郁芳門焼亡
1231年	6月19日	寛喜三年	五月十一日	その他	洞院教実公記	九条家暦世記録 1-P135	天下衰微過法之間、被行攘災之計〔 〕有可改元之由、有其沙汰、仰頭中宮亮資頼（葉室）朝臣被勘日時
1231年	6月22日	寛喜三年	五月十四日	その他	民經記同日条	鎌 4146	〔後堀河天皇諭旨、治部権少輔奉、惣在庁御房宛〕…近日依飢饉事、所有儉約之沙汰也、僧綱已下從類事、注文一紙遣之、最勝講以前、不廻時刻、可令告知者、依天氣執達如件（副遣注
1231年	6月29日	寛喜三年	五月二十一日	その他	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P305	風聞、近日、飢饉其之間、京中在地人等、合力推入富家、飲食之後、推借錢米等、数多分配取事、所々多聞云々、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1231年	7月7日	寛喜三年	五月二十九日	その他	洞院教実公記	九条家暦世記録 1-P148	…此間余賑給定候由申殿下、起座着陣…奏賑給定候之由、帰来仰聞食之由、次以官人召弁…
1231年	7月19日	寛喜三年	六月十一日	その他	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P305	祇園内常行堂上、餓死者出来之間、令破築地上取棄云々、
1231年	7, 8月 (7.9-8.6)	寛喜三年	六月	疫病	年代記抄大日本史	日本震災凶饑攷	夏天下大に飢え疫疾流行止まず
1232年	4月1日	貞永一年	三月二日	火災	皇帝紀抄七	新校群書類従 2-P305	辰時雷落、東大寺・元興寺・并春日社・院御塔等有火、即各令打滅云々、
1232年	6月9日	貞永一年	五月十二日	防災：その他	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P159	雨已過法度、可申行止雨奉幣之由仰了
1232年	6月9日	貞永一年	五月十二日	防災：その他	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P159	雨已過法度、可申行止雨奉幣之由仰了
1232年	6月16日	貞永一年	五月十九日	防災	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P161	若降者、可申行止雨奉幣之由、仰上臆了
1232年	6月27日	貞永一年	六月一日	防災	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P162	抑雨已依可為民愁、可申行雨奉幣之由、以御教書仰兼高了
1232年	6月30日	貞永一年	六月四日	疫病	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P163	近日天下多病患之人…
1232年	7月3日	貞永一年	六月七日	防災	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P163	今日止雨奉幣 [] 之云々、
1232年	7月15日	貞永一年	六月十九日	防災：その他	洞院教実公記	九条家歴世記録 1-P166	雨脚暫不休、辰刻雨可止之由、殊可祈念之旨、以御教書仰東寺一長者親殿僧正了…又猶可申行止雨奉幣之由、同以御教書仰兼高了、…伝聞鴨川水出、又今年中不越前々云々
1232年	12月23日	貞永一年	十一月三日	その他	山城北野社紅梅殿記上	鎌補遣 2-1077	[陸奥守某請文案] …但当国此兩三年弘地 [] 損亡之間、如此召物、非計[略之カ] 所及之由、雜掌申之候、…感應寺拂地焼亡
1232年	4, 5月 (4.30-5.28)	貞永一年	四月	火災	皇帝紀抄	日本災異志	北野社焼亡
1234年	3月22日	文暦一年	二月十四日	火災	皇年代略記	日本災異志	炎天逐日如焦照
1234年	9月9日	天福二年	八月八日	旱魃・渇水	明月記	史料 5-9-597	月出間以後大風、其響如雷粉々
1235年	1月4日	嘉禎一年	十一月十七日	その他：風害	明月記	史料 5-10-336	終夜雨降、朝風吹雪
1235年	4月13日	文暦二年	三月十七日	冷害・雪害	明月記	史料 5-10-53	入夜大雨雷電猛烈夜深休
1235年	5月27日	文暦二年	五月二日	その他：大雨	明月記	史料 5-10-53	已時雹降、即晴、申後雷鳴
1235年	5月29日	文暦二年	五月四日	冷害・雪害	明月記	史料 5-10-53	雷鳴雹降、其勢如梅子、刃土作物皆以打損云々
1235年	5月29日	文暦二年	五月四日	冷害・雪害	百鍊抄	史料 5-10-53	昨雹此辺如飛礫、積地不消…今日猶不消、大猶柑子、稼穡已損由、民口不安云々
1235年	5月30日	文暦二年	五月五日	冷害・雪害	明月記	史料 5-10-55	雨漸降、雷電猛烈雨如妖
1235年	7月27日	文暦二年	六月四日	その他：大雨	明月記	史料 5-10-99	止雨奉幣
1235年	7月30日	文暦二年	六月七日	防災	明月記	史料 5-10-99	甚雨滂沱
1235年	12月5日	嘉禎一年	十月十七日	その他：大雨	明月記	史料 5-10-299	申後又甚雨…夜雨如妖、河水溢云々
1235年	12月6日	嘉禎一年	十月十八日	洪水	明月記	史料 5-10-299	河原之洪水如何
1235年	12月7日	嘉禎一年	十月十九日	洪水	明月記	史料 5-10-299	(京都痘瘡流行)
1235年	12月11日	嘉禎一年	十月二十三日	疫病	明月記	史料 5-10-310	

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1235年	12月13日	嘉禎一年	十月二十五日	防災：疫病	明月記	史料 5-10-320	明日依庖瘡事廿二社奉幣
1235年	12月14日	嘉禎一年	十月二十六日	防災：疫病	明月記	日本疾病史	奉幣廿二社、依攘庖瘡也
1235年	12月27日	嘉禎一年	十一月九日	疫病	明月記	史料 5-10-338	若年皆庖瘡
1235年	11, 12月 (11.19-12.18)	嘉禎一年	十月	防災：疫病	明月記・吾妻鏡	鎌倉時代医学史の研究	京都庖瘡流行、二十三社に奉幣、四条天皇庖瘡に罹る
1236年	3月25日	嘉禎二年	二月十日	洪水	皇代暦	史料 5-10-587	雷鳴霹靂大雨洪水
1236年	5月21日	嘉禎二年	四月八日	冷害・雪害	百鍊抄	史料 5-10-642	暴風雷雨、未刻雹降、其大如柑子、万人驚目
1236年	5月21日	嘉禎二年	四月八日	冷害・雪害	皇代暦	史料 5-10-642	未刻雷電大風、自乾至異、降水、大者如柚、小者如梅実
1236年	5月21日	嘉禎二年	四月八日	冷害・雪害	興福寺略年代記	続群書類従 29下-P160	申刻、洛中雹降、輪七、八寸、
1236年	5月21日	嘉禎二年	四月八日	その他：風害	皇年代略記	新校群書類 従 2-P203	雷電・大風
1236年	7月12日	嘉禎二年	六月一日	地震	百鍊抄・吾妻鏡	日本震災凶 饑攷	大震、元暦以後の大震と称す
1237年		嘉禎三年		その他	吾妻鏡	鎌 5417	〔吾妻鏡同日条〕一、奴婢雑人事、付、所生男女事／寛喜三年饑死之比、為飢人於出来之輩者、就養育之功勞、可為主人計之由、被定置畢、就其時減直之法、可被糺返之旨、沙汰出来之条、甚無其謂、但兩方令和与、以當時之直法、至糺返者、非沙汰之限者
1237年		嘉禎三年		その他	新編追加	鎌 5418	〔新編追加〕寛喜三年饑死之比、為飢人於出来之輩者、就養育之功勞、可為主人計之由、被定置畢、凡人倫壳買事、禁制殊重、然而飢饉之年計者、被免許歟、而就其時減直之法、可被糺返之旨、沙汰出来之条、甚無其謂歟、但兩方令和与、以當時之直法、至糺返者、非沙汰之限歟
1237年	3月6日	嘉禎三年	二月一日	地震	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P56	大地震
1237年	3月6日	嘉禎三年	二月一日	地震	皇年代略記	新校群書類 従 2-P203	大地震
1237年	7月1日	嘉禎三年	六月	洪水	異本塔寺長帳	原田信男 〔中世東国 災害史略年 表〕	日本大雨大洪水、会津出水海の如し
1237年	7月1日	嘉禎三年	六月一日	地震	百鍊抄	史料 5-11-263	卯刻大地震、万人恐怖之、元暦（2.7.9）以来無如此事
1237年	7月1日	嘉禎三年	六月一日	地震	皇代暦	史料 5-11-263	大地震
1237年	11月24日	嘉禎三年	十月二十八日	火災	皇年代略記	日本災異志	六波羅密寺火
1238年	2月16日	暦仁一年	二月十六日	火災	皇年代略記	日本災異志	鞍馬寺火
1238年	4月13日	嘉禎四年	二月二十日	風害	百鍊抄	史料 5-11-690	大風、法成寺歩廊顛倒了
1238年	8月13日	嘉禎四年	六月二十五日	風害：洪水	吾妻鏡吉川三一	史料 5-11-903	雨降終日不休、丑刻大風霹靂洪水、人屋多破損
1238年	8月27日	嘉禎四年	七月九日	洪水	吾妻鏡吉川三一	史料 5-11-910	今日摂政殿宇治入延引、依去夜雨洪水之故也
1238年	7, 8月 (7.20-8.18)	嘉禎四年	六月	防災：その他：大雨	師守記	早魃霖雨史料	霖雨、六社奉幣
1239年	5月25日	延応一年	四月十四日	その他	吾妻鏡	鎌 5417	〔吾妻鏡同日条〕一、奴婢雑人事、付、所生男女事／寛喜三年饑死之比、為飢人於出来之輩者、就養育之功勞、可為主人計之由、被定置畢、就其時減直之法、可被糺返之旨、沙汰出来之条、甚無其謂、但兩方令和与、以當時之直法、至糺返者、非沙汰之限者

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1239年	5月28日	延応一年	四月十七日	その他	新編追加	鎌 5418	〔新編追加〕寛喜三年饑死之比、為飢人於出来之輩者、就養育之功勞、可為主人計之由、被定置畢、凡人倫売買事、禁制殊重、然而飢饉之年計者、被免許歟、而就其時減直之法、可被糺返之旨、沙汰出来之条、甚無其謂歟、但兩方令和与、以當時之直法、至糺返者、非沙汰之限歟
1239年	6月11日	延応一年	五月一日	その他	新編追加	鎌 5426	〔新編追加〕人倫売買事、禁制重之、而飢饉之比、或沽却妻子眷属、助身命、或容置身於富徳之家、渡世路之間、就寛宥之儀、自然無沙汰之処、近年甲乙人等面々訴訟、有煩于成敗、所詮、於寛喜以後、延応元年四月以前事者、訴訟人共以京都之輩者、不能武士口入、至関東御家人与
1239年	6月16日	延応一年	五月六日	その他	新編追加	鎌 5427	〔関東評定衆連署状〕人倫売買事、禁制重置、而寛喜飢饉之時、被相有歟、於今者、任論旨、可令停止之由、重可被下知之由、被仰下也、
1239年	8月3日	延応一年	六月二十五日	その他：大雨	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	依霖雨御祈、於東大・興福・延暦三ヶ寺、有御読経事
1239年	8月6日	延応一年	六月二十八日	その他：大雨	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	被立諸社奉幣使…是去十八日依霖雨被行、…
1240年	1月7日	仁治一年	十一月十七日	その他：風害	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P56	大風雷鳴、
1240年	1月7日	仁治一年	十一月十七日	その他：風害	皇年代私記	新校群書類従 2-P203	大風・雷鳴、
1240年	7月28日	延応二年	七月一日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	炎暑炙殊如蒸、日数已涉旬月、随又属秋天了、世間皆損了、
1240年	8月3日	延応二年	七月七日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	炎旱逐日興盛、誠可愁也、天災歟
1240年	8月4日	延応二年	七月八日	防災	平戸記一	増補史料大成 32	自今日、於神泉苑、被始行請雨経法、醍醐座主実堅勤修之
1240年	8月4日	延応二年	七月八日	防災	東寺王代記	続群書類従 29下 -P64	於神泉、修請雨経法、
1240年	8月5日	延応二年	七月九日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	…欲損亡天下、可始自炎旱疾飢、然而失天下事、不申請神明者可有其恐、仍所申也、…炎旱之休、誠有様事也、
1240年	8月7日	延応二年	七月十一日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	炎旱之際大和国損亡、仍春日詣不可叶之由、所被仰也…
1240年	8月8日	延応二年	七月十二日	防災	平戸記一	増補史料大成 32	昨今雷雨数声、天無片雲、炎暑殊太、請雨経法一切無其驗歟、誠可然事也、
1240年	8月9日	延応二年	七月十三日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	炎旱如火、諸人似病之窮困、已尽御祈了、今不得一塵之驗、万人仰天了、
1240年	8月11日	延応二年	七月十五日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	今日依炎旱御祈、被十二社奉幣云々、
1240年	8月14日	仁治一年	七月十八日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	請雨経法申延二ヶ日、十六日満日数之処、猶申延七ヶ日云々、是入道殿被加御用意云々、希代之例也、生涯可待降雨歟
1240年	8月17日	仁治一年	七月二十一日	その他：風害	平戸記一	増補史料大成 32	大風微雨、終日不休
1240年	8月18日	仁治一年	七月二十二日	その他：風害	平戸記一	増補史料大成 32	風雨不止、世間還損亡之基歟、
1240年	8月19日	仁治一年	七月二十三日	その他：風害	平戸記一	増補史料大成 32	朝間甚雨如沃く自此風止く自已刻漸止、其後陰晴不定、未刻已後又降雨、
1240年	12月8日	仁治一年	十月十七日	旱魃・渇水	平戸記同日条	鎌 5650	〔平経高請文〕…如司解者、今当炎旱之年、猶泥恒例之勤、何況於臨時之役云々…
1240年	12月8日	延応二年	十月十七日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	…今当炎旱之年、猶泥恒例之勤、何況於臨時之役云々…
1241年	7月19日	仁治二年	六月三日	洪水	百鍊抄	日本震災凶饉攷	三日～十八日京都大雨洪水
1241年	7月22日	仁治二年	六月六日	防災	東寺王代記	続群書類従 29下 -P64	為祈雨、修孔雀経法

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1242年	1月11日	仁治三年	十二月十二日	疫病	平戸記一	増補史料大成 32	近日、天下上下諸人煩咳病、所疑時行之脉也、多以損命、已可謂天才歟、
1242年	2月23日	仁治三年	一月十五日	その他	後日之式条	鎌 5979	[新成敗式目] …一、人倫売買事ノ右、関東御教書云、寛喜飢饉之比者、固有禁制者、還依可為人之煩、愁無沙汰自今以後者、可令停止云々、守被仰下旨、可止之、若背御制、云買人、云売人、可処罪科云々、
1242年	4月13日	仁治三年	三月五日	火災	皇年代略記	日本災異志	行願寺火
1242年	4月29日	仁治三年	三月二十一日	冷害・雪害	平戸記一	増補史料大成 32	今春余寒超冬、匪直也事歟、
1242年	6月8日	仁治三年	五月二日	風害	平戸記一	増補史料大成 32	自曉甚雨、自未剋後大風…自此間大風弥猛、多破人家、倒樹木、入夜漸止
1242年	7月8日	仁治三年	六月二日	防災：その他	平戸記一	増補史料大成 32	終日終夜降雨如昨日、入夜殊以甚、…今日又被発遣止雨奉
1242年	7月9日	仁治三年	六月三日	洪水：早魃・渇水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P57	大雨洪水、自六月四日炎早、同十七日大雨洪水、
1242年	7月9日	仁治三年	六月三日	洪水	皇年代略記	新校群書類従 2-P204	大雨・洪水、自去三月、洪水・大雨、
1242年	7月10日	仁治三年	六月四日	洪水：早魃・渇水	皇年代略記	新校群書類従 2-P204	自六月四日炎早、同十七日、八日、大雨洪水、
1242年	7月14日	仁治三年	六月八日	冷害・雪害：その他	平戸記一	増補史料大成 32	終日降雨、涼氣如冬、上下各著綿衣、未曾有事也、五月雨之後、六月霖雨、世間損亡云々
1242年	7月25日	仁治三年	六月十九日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、近日連日風吹、又有早魃之氣、今年風水旱三災相合、天下愁之云々、
1242年	7月31日	仁治三年	六月二十五日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、風猶不止、今年風水旱三災相起、天下憂也
1242年	8月2日	仁治三年	六月二十七日	防災：早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎早涉旬、為御祈、可被行水天供七壇之由、有沙汰云々、神泉先掃除云々
1242年	8月4日	仁治三年	六月二十九日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎暑如蒸、
1242年	12月3日	仁治三年	十一月三日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	近日京中井水皆枯尽了、此辺又同然
1242年	12月5日	仁治三年	十一月五日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、絶久不降雨、匪直也事、京中水已尽了、上下歎之
1242年	12月13日	仁治三年	十一月十三日	その他：風害	百鍊抄	日本震災凶饉攷	大風
1242年	3, 4月 (3.10-4.8)	仁治三年	二月	地震	皇年代略記	新校群書類従 2-P203	大地震
1242年	8, 9月 (8.5-9.3)	仁治三年	七月	火災	皇年代略記	日本災異志	光明院火
1243年		仁治四年		疫病	大日本史	日本震災凶饉攷	痘瘡流行
1244年	2月21日	寛元二年	一月五日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	大地震
1244年	2月21日	寛元二年	一月五日	地震	如是院年代記	新校群書類従 20-P262	地大震
1244年	6月9日	寛元二年	四月二十五日	早魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	今年有炎旱之疑、所々之地皆乾云々、又近日病患充滿、或損命…
1244年	6月13日	寛元二年	四月二十九日	疫病	平戸記一	増補史料大成 32	天下病患逐日日新、每家每人莫不臥病床…近年無如此事、可恐々々
1244年	6月15日	寛元二年	五月二日	疫病	平戸記一	増補史料大成 32	近日人別煩病患之間、如童僕不見來、
1244年	6月15日	寛元二年	五月二日	防災：疫病	平戸記一	増補史料大成 32	世間病事可有御祈歟之由、被申之、
1244年	6月16日	寛元二年	五月三日	疫病	平戸記一	増補史料大成 32	自今日依所勞〈世間流布事〉籠居
1244年	6月25日	寛元二年	五月十二日	疫病：防災	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被立廿二社奉幣使、依世間不靜御祈也、
1244年	6月28日	寛元二年	五月十五日	疫病	平戸記一	増補史料大成 32	近日諸人病悩之間、其衆等欠如、然而如形求集、不令退転也

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1244年	6月29日	寛元二年	五月十六日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、諸国有炎旱之氣、就中至大和国者、都忘東作之業云々、連々雖似雨下、地一切不潤令乾云々、又近日涼氣殊太、上下未離綿衣、暑天如此可奇々々、病患競起偏此故也、
1244年	7月11日	寛元二年	五月二十八日	その他	平戸記一	増補史料大成 32	伝聞、備中前司宗範朝臣頓死云々、可哀々々、今年連々有此災、可哀々々
1244年	7月14日	寛元二年	六月一日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、未後兩度微雨、雷鳴一兩声、然而雨不及潤地、炎旱之令然歟、
1244年	7月17日	寛元二年	六月四日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎旱已及下民之憂云々、頗有御祈沙汰云々
1244年	7月19日	寛元二年	六月六日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	炎暑如蒸、太無術計、自今日、依祈雨被始十檀水天供云々
1244年	7月21日	寛元二年	六月八日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	今年郭公充滿、炎旱之兆歟
1244年	7月24日	寛元二年	六月十一日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎旱已涉旬、天下之歎也
1244年	7月29日	寛元二年	六月十六日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎旱涉旬、敢無雨氣、御祈更無其驗歟、偏是政道依違之故也、上下愁歎之外無他歟、病者逐日増氣、仍此間不出仕也…
1244年	7月31日	寛元二年	六月十八日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、昨今炎日殊甚、於今者、天下損亡無異歟
1244年	8月1日	寛元二年	六月十九日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、日輝如火、上下敢難堪忍、所々井水多枯尽了云々、
1244年	8月3日	寛元二年	六月二十一日	防災：旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	請雨經法可被始行云々、大国四ヶ国可濟其用途云々、神泉御読經猶二ヶ日申延云々、炎旱事匪直也事、仍有德政之沙汰…
1244年	8月8日	寛元二年	六月二十六日	防災	平戸記一	増補史料大成 32	仍自昨日、被行請雨經云々、
1244年	8月8日	寛元二年	六月二十六日	防災	東寺王代記	統群書類従 29下 -P65	於神泉、修請雨經法、
1244年	8月10日	寛元二年	六月二十八日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	自曉雨止…不可叶農業之要歟
1244年	8月12日	寛元二年	七月一日	防災	平戸記一	増補史料大成 32	請雨經法第二日蒙賞…
1244年	8月13日	寛元二年	七月二日	地震	平戸記一	増補史料大成 32	辰刻大地震
1244年	8月14日	寛元二年	七月三日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎旱、其憂下民猶不休云々
1244年	8月15日	寛元二年	七月四日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	一時甚雨、即晴、未能消下民之憂歟…雨今（木カ）津以南不降、不可説也、又江州以東同不降云々、
1244年	8月22日	寛元二年	七月十一日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、炎暑此間如蒸、
1244年	8月23日	寛元二年	七月十二日	旱魃・渇水	平戸記一	増補史料大成 32	晴、今日頗有涼風、炎旱難止、可然之天災歟、…
1244年	5, 6月 (5.16-6.13)	寛元二年	四月	疫病	武家年代記裏書	統史料大成 18	自四月、至六月、大疫〈号鬱陀鬼〉或三或五日、十歳以上者無不受此病、
1245年	3月22日	寛元三年	二月十六日	その他	新編追加	鎌 6443	〔関東評定事書〕一、寛喜以来飢饉時養助事／無縁之非人者、不及御成敗、於親類境界者、一期之間、雖令進退、不及売買、又不可及子孫相伝也
1245年	6月15日	寛元三年	五月十三日	旱魃・渇水	平戸記二	増補史料大成 33	晴、依有炎旱之氣、可被行水天供云々
1245年	6月22日	寛元三年	五月二十日	洪水	平戸記二	増補史料大成 33	自去夜甚雨如沃、河水泛溢云々
1245年	6月22日	寛元三年	五月二十日	旱魃・渇水	平戸記二	増補史料大成 33	水天供自明日可被始行之由雖被仰、雨已降、仍又延引云々
1245年	8月9日	寛元三年	七月九日	防災：旱魃・渇水	平戸記二	増補史料大成 33	祈雨奉幣事…水天供已後連々有夕立、但畿内一切不雨下云々、仍及此沙汰歟、但伝聞者、於〔 〕所々者皆以損亡、今者無詮云々、不然之所等者、又無雨之要云々、此奉幣無詮歟、…

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1245年	8月11日	寛元三年	七月十四日	洪水	平戸記二	増補史料大成 33	終日終夜甚雨、河水已泛溢云々、
1245年	8月12日	寛元三年	七月十五日	洪水：防災	平戸記二	増補史料大成 33	又以甚雨、所々鴻水無比類云々、雨中祈雨之所致也、天下損亡歟、不可説々々、…洪水之間、不能往反…
1245年	8月13日	寛元三年	七月十六日	洪水	平戸記二	増補史料大成 33	以方違向本所、洪水之間、用祇園橋
1245年	8月16日	寛元三年	七月十九日	冷害・雪害	平戸記二	増補史料大成 33	此間陰雲俄興、雷雨殊甚電下、七月電近來不覺、和漢定無例歟、吉凶如何、不審々々
1245年	8月23日	寛元三年	七月二十六日	地震	平戸記二	増補史料大成 33	今夜丑剋大地震、予本自驚眠、驚走出立庭上…壁破損築地令壞、所々屋々多以破損…
1245年	9月2日	寛元三年	八月三日	洪水	平戸記二	増補史料大成 33	雷鳴、及晩雨夜甚、…河水已泛溢云々、車馬難通云々、仍今夕
1245年	10月25日	寛元三年	九月二十六日	洪水	平戸記二	増補史料大成 33	自夜大雨、終日不休、河水泛溢云々
1245年	12月26日	寛元三年	十一月二十九日	火災	皇年代略記	日本災異志	稻荷神社火
1245年	12月26日	寛元三年	十一月二十九日	風害	平戸記二	増補史料大成 33	俄大風、終日不休、人家多破損、酉剋許休止
1246年	5月25日	寛元四年	四月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	陣中焼亡
1246年	7月23日	寛元四年	六月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	京都大火
1246年	7月27日	寛元四年	六月六日	火災	黄葉記	日本災異志	京師火
1246年	7月29日	寛元四年	六月八日	火災	黄葉記	日本災異志	建仁寺火
1246年	7月30日	寛元四年	六月九日	火災	黄葉記	日本災異志	織部司火
1247年		宝治一年		火災	和漢合符	日本災異志	内裡火
1247年	8月8日	宝治一年	六月二十九日	旱魃・渇水：防災	東寺王代記	続群書類従 29下 -P65	於東寺灌頂院、…為祈雨、孔雀經法勤修、
1247年	10月5日	宝治一年	八月二十八日	火災	黄葉記	日本災異志	法勝寺阿彌堂焼亡
1248年	9月18日	宝治二年	八月二十三日	火災	百鍊抄	日本災異志	左近衛府火
1248年	11月15日	宝治二年	十月二十二日	火災	百鍊抄	日本災異志	内膳司火
1249年	3, 4月 (3.23-4.21)	建長一年	二月	火災	皇年代略記	日本災異志	閑院内裡火」
1249年	5月11日	建長一年	三月二十日	火災	皇年代略記	日本災異志	五條邊火
1249年	5月14日	建長一年	三月二十三日	火災	皇年代略記	日本災異志	京都大火、京中大焼亡
1249年	5月22日	建長一年	四月二日	火災	皇年代略記	日本災異志	吉田社邊火
1250年	7月23日	建長二年	六月十六日	防災：その他：大雨	師守記四 - 一一七頁	史料纂集	依止雨、被立十社奉幣使…是去十日依霖雨…
1252年		建長四年		その他	武家年代記裏書	続史料大成 18	大飢、米升百銭、
1252年		建長四年		その他	歴仁以来年代記	続群書類従 29下 -P228	大饑、米升百銭、
1252年		建長四年		その他	如是院年代記	新校群書類従 20-P262	大飢、米升百銭、
1253年	6月24日	建長五年	五月二十日	防災：旱魃・渇水	壬生家文書七 - 一九四四頁	図書寮叢刊	「官宣旨写（山城清滝社宛て）」…奉勅、為祈晴甘雨、始今月廿一日申二点、五箇日之間…
1253年	6月25日	建長五年	五月二十一日	火災	一代要記	日本災異志	延暦寺東塔五佛院實相院火
1254年	2月15日	建長六年	一月十九日	火災	興福寺略年代記	日本災異志	法城寺焼亡
1254年	3月16日	建長六年	二月十九日	火災	皇年代略記	日本災異志	法成寺火
1254年	7月4日	建長六年	五月十一日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P58	大地震
1254年	7月12日	建長六年	五月十九日	地震	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P58	大地震
1254年	7月12日	建長六年	五月十九日	地震	皇年代私記	新校群書類従 2-P204	大地震
1254年	8, 9月 (8.22-9.20)	建長六年	七月	旱魃・渇水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-P58	炎旱、
1254年	8, 9月 (8.22-9.20)	建長六年	七月	旱魃・渇水	皇年代略記	新校群書類従 2-P205	六、七月炎旱、

西 曆		和 曆		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1255年	10月 7 日	建長七年	八月二十八日	その他：大雨	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P58	雷雨、落雷法勝寺塔、
1256年	7 月16日	建長八年	六月十六日	その他	経俊卿記	図書寮叢刊	雷落法勝寺阿弥陀堂北第一御仏上、雷 火不燃付云々
1256年	9, 10月 (9.27-10.26)	建長八年	九月	疫病	吾妻鏡・百 鍊抄	鎌倉時代医 学史の研究	天皇、時頼、義宗、実時の室も赤斑瘡 を患う
1257年	3 月 4 日	正嘉一年	二月十日	火災	皇年代略記	日本災異志	官廳失火焼亡
1257年	3 月22日	正嘉一年	二月二十八日	火災	興福寺略年 代記	日本災異志	六條内裡火
1257年	6 月25日	正嘉一年	五月五日	洪水	経俊卿記	図書寮叢刊	雨降、洪水之間、不出仕
1257年	6 月26日	正嘉一年	五月六日	洪水	経俊卿記	図書寮叢刊	甚雨猶過法、洪水超昨日、車馬不通、 仍不能出仕、河辺小屋等大略流出云々、 近年此程之洪水未覚悟之由、古老之者 等称之、
1257年	6 月27日	正嘉一年	五月七日	その他：大雨	経俊卿記	図書寮叢刊	朝間猶雨降、然而漸属晴、今日水猶不 落之間、不能出仕、…又於藏人所被行 霖雨御卜、
1257年	6 月28日	正嘉一年	五月八日	その他：大雨	経俊卿記	図書寮叢刊	霖雨御卜事
1257年	6 月29日	正嘉一年	五月九日	洪水	経俊卿記	図書寮叢刊	今日（小）五月会、一昨日延引、依洪 水如浮橋不可叶、（仍延）引云々…
1257年	8 月 7 日	正嘉一年	六月十九日	防災：旱魃・渇水	経俊卿記	図書寮叢刊	仰 可為廿二日 炎早御祈事／仰 奉幣可 為明日、神泉掃除事、同可申沙汰之由 可仰、
1257年	9 月19日	正嘉一年	八月三日	防災：その他	経俊卿記	図書寮叢刊	止雨奉幣事／仰、明日指合者、雖明後 日可申行、
1257年	10月10日	正嘉一年	八月二十四日	火災：地震	和漢合符	日本災異志	大地震、五條殿火
1257年	10月10日	正嘉一年	八月二十四日	地震	如是院年代 記	新校群書類 従 20-P262	大地震、
1257年	10月22日	正嘉一年	九月七日	冷害・雪害	経俊卿記	図書寮叢刊	霜降
1258年	5 月24日	正嘉二年	四月十三日	火災	百鍊抄	日本災異志	大炊御門殿火
1258年	6 月 7 日	正嘉二年	四月二十七日	防災：疫病	経俊卿記	図書寮叢刊	今日依疾疫御祈、被発遣廿二社奉幣…
1258年	6 月18日	正嘉二年	五月八日	その他	経俊卿記	図書寮叢刊	近日食死人之小尼有之、希代之珍事也、 昨日追城外云々
1258年	7, 8 月 (7.10-8.7)	正嘉二年	六月	冷害・雪害	歴仁以来年 代記	続群書類従 29 下 -P228	六月寒冷如例二、三月、仍五穀不熟、 天下一同、仍次年大飢饉、餓死者不知 其数、百文直僅小升三升也、
1259年		正元一年		疫病	皇年代私記	改定史籍集 覧 19-P58	今年、春以来、疾疫・飢饉、
1259年	3 月11日	正嘉三年	二月九日	その他	新式目	鎌 8346	〔関東御教書案、駿河守宛て〕一、止 山野江海煩、可助浪人身命事、／諸国 飢饉之間、遠近佗（サイ、人+祭）之 輩、或入山野、取薯蕷・野老・或臨江 海、求魚鱗海藻、以如此業、支活計之 処、在所之地頭、堅令禁遏云々、早止 地頭制止、可助浪人身命也、但寄事於 此制符、不可有過
1259年	4 月 2 日	正嘉三年	三月一日	防災：疫病	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	依世間不静、御祈被〔 〕諸国仁王經 転読事、
1259年	5 月 5 日	正嘉三年	四月五日	防災：疫病	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	依飢饉疫疾、御祈於五畿七道諸国可転 読最勝王經之由、被宣下之、
1259年	5 月27日	正嘉三年	四月二十七日	防災	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被発遣臨時廿二社奉幣使、世間不静御 祈也、
1259年	5 月27日	正元一年	四月二十七日	火災	皇年代略記	日本災異志	清水塔以下火
1259年	6 月21日	正元一年	五月二十二日	火災	皇年代略記	日本災異志	閑院内裡火
1259年	8 月 7 日	正嘉三年	七月十日	防災	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被発見祈年穀奉幣使、世間不静事、被 戴宣命辞別、
1260年		正元二年		疫病	武家年代記 裏書	続史料大成 18	天下大飢饉、疫疾
1260年	5 月30日	文応一年	四月十二日	火災	皇年代略記	日本災異志	院御所火
1260年	7 月20日	文応一年	六月四日	疫病	吾妻鏡同日 条	鎌 8523	〔関東評定事書〕一、放免事、／右、 於殺害人者、日来十ヶ年以後、隨所犯 輕重、雖被免之、於今度者、云諸国飢 饉、云人民病死、過法之間、以別御計、 不謂年紀、無殊子細之輩者、至当年所 犯者、被放免畢焉

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1260年	9月27日	文応一年	八月十四日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類 従 20-P262	大風
1261年	10月2日	弘長一年	八月二十九日	その他：風害	如是院年代記	新校群書類 従 20-P262	大風
1263年	9月23日	弘長三年	八月十三日	その他	公家新制	鎌 8977	〔龜山天皇宣旨〕…一、可優恤同土民不安堵事、／…或擄取妻子眷属、或奪取牛馬資材、依之土民逃税、田地荒廢、一夫不耕者、民間受其飢、一婦不織者、天下受其寒、国衙衰弊、職而斯由…
1264年	4月27日	文永一年	三月二十二日	火災	皇年代略記	日本災異志	延暦寺火
1264年	5, 6月 (5.5-6.2)	文永一年	四月	旱魃・渇水	如是院年代記	新校群書類 従 20-P262	自四月、至九月、大旱
1267年	6月12日	文永四年	五月十二日	防災：旱魃・渇水	続史愚抄	日本の気象史料	祈雨奉幣事可申沙汰之由…
1267年	6月15日	文永四年	五月十五日	防災：旱魃・渇水	吉統記・外記日記, 他	増補史料大成 30	晴、去夜甘雨聊〔 〕、二社奉幣、可申沙汰之由…
1267年	6月29日	文永四年	五月二十九日	洪水	吉統記	増補史料大成 30	雨下、依洪水、不出仕
1267年	7月17日	文永四年	六月十七日	防災：その他	吉統記	増補史料大成 30	止雨奉幣
1267年	9月23日	文永四年	八月二十七日	防災：その他	吉統記	増補史料大成 30	可被行止雨奉幣、可申沙汰之由…
1267年	9月24日	文永四年	八月二十八日	防災：その他	吉統記	増補史料大成 30	止雨奉幣可申沙汰之…
1268年	2月5日	文永五年	一月十四日	火災	一代要記	日本災異志	京師大火
1268年	5月4日	文永五年	三月十四日	火災	皇年代略記	日本災異志	善光寺火
1268年	6月22日	文永五年	五月四日	地震	吉統記	増補史料大成 30	辰時大地震
1268年	7月5日	文永五年	五月十七日	防災	吉統記	増補史料大成 30	止雨奉幣可申沙汰之由…
1268年	7月6日	文永五年	五月十八日	防災	吉統記・壬生家譜, 他	綜覧 5-148	止雨奉幣
1268年	7月6日	文永五年	五月十八日	防災	吉統記	増補史料大成 30	止雨奉幣、雖天晴陰雲未散、今日可申沙汰之由有仰、…
1268年	7月18日	文永五年	五月三十日	防災	吉統記	増補史料大成 30	伝聞、今日被行止雨奉幣
1268年	8月13日	文永五年	六月二十六日	防災	吉統記	増補史料大成 30	祈雨奉幣今日発遣…
1268年	8月23日	文永五年	七月七日	旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	〔綸旨〕被綸旨〔 〕炎早已呈旬…難期如雲之秋稼歟、民之所憂、職而斯由…
1268年	8月29日	文永五年	七月十三日	防災：旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	被行神泉読経之後、清滝室生御読経等、強不撰吉日…炎早涉日、為民早速可為先歟…
1270年	5月18日	文永七年	四月二十日	火災	皇年代略記	日本災異志	東寺塔火
1270年	5月27日	文永七年	四月二十九日	防災	師守記四 - 一一八頁	史料纂集	依霖雨御祈、被立石清水以下八社奉幣使、成崇方角社也…
1270年	9月24日	文永七年	八月二十一日	火災	皇年代略記	日本災異志	五條内裡火
1271年	7, 8月 (7.16-8.13)	文永八年	六月	旱魃・渇水		日本震災凶饑攷	夏大旱
1273年		文永十年		旱魃・渇水	歴代皇紀	日本震災凶饑攷	大旱
1273年	6月17日	文永十年	五月二十四日	防災：その他	師守記四 - 一一八頁	史料纂集	被立伊勢以下八社奉幣使…依霖雨、被行脚ト、…
1273年	8月1日	文永十年	六月十日	防災：旱魃・渇水	吉統記・壬生家譜, 他	綜覧 5-189	炎早により祈雨奉幣
1273年	8月1日	文永十年	六月十日	防災：旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	晴、有炎早之愁云々、被行祈雨奉幣、
1273年	8月7日	文永十年	六月十六日	防災	吉統記	増補史料大成 30	自明後日可被行神泉苑御読経…
1273年	8月25日	文永十年	七月五日	防災	吉統記	増補史料大成 30	自今日水天供…、自来十日、於神泉苑、可被行請雨読経云々、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1273年	8月25日	文永十年	七月五日	旱魃・渇水	水天供現行記	続群書類従 25 下 -P327	被始修水供／…炎旱殊甚、旬雨不降、自来五日、限三箇日、可令勤行水天供給之由、天氣所候也…
1273年	8月30日	文永十年	七月十日	防災	吉統記	増補史料大成 30	晴、自今日、於神泉苑、日行請雨経法
1273年	8月30日	文永十年	七月十日	防災	東寺王代記	続群書類従 29 下 -P67	於神泉、修請雨経法、
1273年	9月5日	文永十年	七月十六日	防災	吉統記	増補史料大成 30	請雨経法、今日満七ヶ日、于今無其驗、今二ヶ日可延行之由
1273年	9月5日	文永十年	七月十六日	防災	吉統記	増補史料大成 30	今夕被行五龍御祭、請雨経阿闍梨申行、…
1273年	9月6日	文永十年	七月十七日	防災	吉統記	増補史料大成 30	雨下、請雨経法検敷、即属晴、不及国土之沢敷…
1273年	10月29日	文永十年	十月十二日	火災	一代要記	日本災異志	京師火延及六條殿六條院若宮長講堂
1273年	11月6日	文永十年	十月二十日	火災	一代要記	日本災異志	大炊御門殿火
1273年	8、9月 (8.21-9.19)	文永十年	七月	旱魃・渇水	皇年代私記	改定史籍集覧 19-59	今年、自閏五月、至七月、旱魃、
1275年	5月16日	建治一年	四月十二日	その他：風害	武家年代記裏書	続史料大成 18	大風
1275年	9月16日	建治一年	八月十八日	旱魃・渇水	白河本東寺文書一二四	鎌 16-11996	〔東寺僧侶等申状案〕…炎旱涉旬夏者、修秘法灑甘雨於四海之内、暴風違時秋者…
1276年	5月13日	建治二年	三月二十一日	火災	皇年代略記	日本災異志	三條坊門殿火
1277年	8月21日	建治三年	七月十四日	火災	皇年代略記	日本災異志	京都火自近衛西洞至六條殿悉焼亡
1277年	11月18日	建治三年	十月十五日	火災	一代要記	日本災異志	常磐井殿火
1278年	3月14日	建治四年	二月十三日	疫病	改訂増補昭和定本日蓮聖人遺文	原田〔中世村落の景観と生活〕P392	日本国数年の間打チ続き、けかちゆきて、衣食たへ、畜るいをば食いつくし、結句、人をくらう者出来して、或は小児、或は病人等の肉を裂取て、魚鹿等に加へて売りしかば、人は是を買
1278年	6月20日	建治四年	五月二十二日	疫病	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被行軒廊御卜、依同事（疾疫流布）也、
1278年	7月20日	建治四年	六月二十二日	疫病：防災	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被立廿二社奉幣使、依天下疾疫事也…
1278年	11月5日	弘安一年	十月十三日	火災	一代要記	日本災異志	二條殿火
1279年	6月26日	弘安二年	五月九日	旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	水天供自去五日被始行、…降雨已及普天敷、
1279年	6月26日	弘安二年	五月九日	旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	近日炎旱殊甚、不及東作、民戸成憂、甘雨法験之至敷、
1279年	7月10日	弘安二年	五月二十三日	防災：旱魃・渇水	吉統記	増補史料大成 30	炎旱過法、事去此被行水天供、無其験、神泉説経敷、孔雀経法敷、可被行之由有沙汰、…
1279年	8月16日	弘安二年	七月一日	その他：風害	如是院年代記	新校郡書類従 20-P262	大風、
1280年	2月22日	弘安三年	一月十四日	火災	一代要記	日本災異志	長谷寺火
1280年	3月6日	弘安三年	一月二十七日	その他	改訂増補昭和定本日蓮聖人遺文（秋元御書）	原田〔中世村落の景観と生活〕P392	人の肉を或は猪鹿に交へ、或は魚鳥に切り雑へ、或はたゝき加へ、或はすしとして売る。食する者不知数
1281年	1月15日	弘安四年	十一月二十七日	火災	歴代皇紀	日本災異志	毘沙門堂火
1281年	7月24日	弘安四年	七月一日	風害	東寺王代記	続群書類従 下 -68	五月廿三日、蒙古率三万七千艘来、七月一日、俄大風吹、皆滅亡、是併仏神之靈威也、
1282年	1月3日	弘安五年	十一月二十六日	火災	歴代皇紀	日本災異志	常磐井殿火
1282年	1月23日	弘安五年	十二月十六日	火災	歴代皇紀	日本災異志	毘沙門堂火
1283年	7月2日	弘安六年	五月二十九日	疫病：その他	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	依世間病事并霖雨事、被行軒廊御卜、
1283年	7月22日	弘安六年	六月二十日	防災：疫病	勘仲記一	増補史料大成 34	今日依天下病事御祈、被発遣五社奉幣…
1283年	7月22日	弘安六年	六月二十日	防災：疫病	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	被立五社奉幣使、依世間病事也、
1283年	7月24日	弘安六年	六月二十二日	防災：疫病	師守記四 - 一三五頁	史料纂集	於南殿、限三ヶ日有大般若御説経事、依天下疾疫御祈也、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1283年	11月9日	弘安六年	十月十二日	その他	勘仲記一	増補史料大成 34	宇治供僧証尋僧都参入、申玉櫛供田并河上損亡事、當時有御沙汰之由被仰下了
1284年	6月9日	弘安七年	四月十七日	洪水	勘仲記一	増補史料大成 34	雨降、不出仕、洪水溢洛中、烏丸川西洞院川等不及通人馬云々、一条前殿今出川等、為水底云々、近衛殿烏丸面棟門流失、築地悉顛倒、町并西洞院等小屋多流失、洛陽水害頗無
1284年	9月3日	弘安七年	七月十五日	その他	勘仲記二	増補史料大成 35	今年庄々称異損之由、例進帷布未到之間、多不乞
1284年	9月29日	弘安七年	八月十二日	その他	勘仲記二	増補史料大成 35	久世郷民〈鴨社神人〉依河成高、相論事、今日致喧嘩云々、…
1285年	5月1日	弘安八年	三月十八日	火災	歴代皇紀	日本災異志	松尾神社火
1286年	10月3日	弘安九年	九月七日	防災	勘仲記二	増補史料大成 35	今日被行止雨奉幣…
1286年	11月4日	弘安九年	十月十日	その他：大雨	勘仲記二	増補史料大成 35	依霖雨、日行御卜…
1287年	1月27日	弘安十年	十二月十六日	冷害・雪害	伏見天皇宸記	増補史料大成 35-255	雪猶降欲満尺、豊年瑞尤可悦者也、
1287年	3月24日	弘安十年	二月二日	防災：疫病	勘仲記二	増補史料大成 35	下知五畿七道諸国、奉幣神社、読経仏寺、令攘除疾疫者…
1287年	5月9日	弘安十年	三月十九日	防災	勘仲記二	増補史料大成 35	今日被行止雨奉幣、…
1287年	6月29日	弘安十年	五月十日	洪水：その他	勘仲記二	増補史料大成 35	雨降、霖雨不休、鴻水有其難、法成寺総社後築地流失之間、為検知参彼辺、先規頗稀歟、…其次、向二条河原歴覧鴻水、大略如滔水、青苗流失、諸庄園損亡、兆庶多其愁歟、可歎々々
1287年	7月3日	弘安十年	五月十四日	その他：大雨	勘仲記二	増補史料大成 35	今日依霖雨被行軒廊御卜…
1287年	7月13日	弘安十年	五月二十四日	防災：その他	勘仲記二	増補史料大成 35	今日依霖雨御祈、成崇方角神太神宮已下、被発遣八社奉幣
1287年	7月15日	弘安十年	五月二十六日	洪水：その他	兼仲卿記	鎌 21-16265	〔陰陽寮占文〕霖雨不晴、洪水有難、何咎崇歟…
1287年	7月16日	弘安十年	五月二十七日	その他：大雨	兼仲卿記	鎌 21-16266	〔龜山上皇院宣〕旬月以来霖雨不晴、只有緑水之害、未播青苗之種、三農之失時、…世以民為基、民以食為天、百穀不登者、兆庶豈有安哉、国之大事…
1287年	7月16日	弘安十年	五月二十七日	その他：大雨	勘仲記二	増補史料大成 35	仰祭主院宣／旬月以来霖雨不晴、只有緑水之害、未播青苗之種、三農之失時、八〔 〕之所愁也、世以民為基、民以食為天、百穀不登者、兆庶豈有安哉、国之大事蓋有于斯、早参籠本官
1287年	7月20日	弘安十年	六月二日	防災	兼仲卿記	鎌 21-16269	〔龜山上皇院宣〕止雨御祈事、梅林忽休…
1287年	10月11日	弘安十年	八月二十六日	防災	勘仲記二	増補史料大成 35	御祈先例不被行止雨奉幣之間、今日為申行催促上卿弁、…
1287年	10月11日	弘安十年	八月二十六日	防災	勘仲記二	増補史料大成 35	今日依降雨被立止雨二社奉幣…
1287年	10月11日	弘安十年	八月二十六日	防災	勘仲記二	増補史料大成 35	深更雨脚滂沱、終夜不休、奉幣以無其詮、頗不審也、
1287年	7, 8月 (7.19-8.17)	弘安十年	六月	洪水：その他	一代要記	日本震災凶謹攷	夏京都霖雨洪水
1288年	3月12日	弘安十一年	二月二日	洪水	勘仲記二	増補史料大成 35	先欲着東廊座之処、洪水之間、不及儲座…
1288年	5月15日	弘安十一年	四月七日	疫病	兼仲卿記	鎌 22-16565	〔伏見天皇宣旨〕近日之天、普天之下、病痾頻流布、尊卑有愁緒、仰東大・興福…等五ヶ寺、自来十日限三ヶ日…
1288年	5月15日	弘安十一年	四月七日	防災：疫病	勘仲記二	増補史料大成 35	上卿於中門廊被下天下病事御祈口宣、…宣旨／近日之天、普天之下病痾頻流布、尊卑有愁緒、仰東大・興福…等五ヶ寺、自来十日限、三日、…
1288年	6月3日	正応一年	四月二十六日	火災	歴代皇紀	日本災異志	行願寺誓願寺等焼亡
1288年	7月30日	弘安十一年	六月二十四日	地震	勘仲記二	増補史料大成 35	亥剋大地震、兼有声騒動、其後震者也、

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1288年	9月2日	弘安十一年	七月二十八日	風害：その他	勘仲記三	増補史料大成 36	暴風雨如叩如妖、後聞、興福寺講堂顛倒、御本尊等散々打碎
1288年	9月10日	弘安十一年	八月六日	防災	勘仲記三	増補史料大成 36	為止雨可有奉幣丹生・貴布祢社日時令勘申…
1288年	9月10日	弘安十一年	八月六日	洪水	勘仲記三	増補史料大成 36	近衛室町河洪水之間、車不乃通…
1288年	9月11日	弘安十一年	八月七日	風害：その他	勘仲記三	増補史料大成 36	雨未休、此間風雨、天下之異損、民間之苦患、有其聞、所驚存
1288年	9月17日	弘安十一年	八月十三日	洪水	勘仲記三	増補史料大成 36	大渡以南、美津佐（羅カ）手等洪水之間、軒騎不可通、用歟之外不可叶、…
1288年	11月21日	弘安十一年	十月十九日	防災	勘仲記三	増補史料大成 36	可被行止雨奉幣、…
1289年	6月28日	正応二年	六月二日	防災：疫病	師守記四 - 一三六	史料纂集	被行四角四堺鬼気御祭、依世間疾疫御祈也、
1289年	7月5日	正応二年	六月九日	防災：疫病	師守記四 - 一三六	史料纂集	被立臨時廿二社奉幣使、依天下疾疫御祈也、霖雨并地動事有辞別、
1289年	9月26日	正応二年	九月四日	洪水	吉統記	増補史料大成 30	洪水之間不出仕、西郊参依洪水思止了、
1289年	10月10日	正応二年	九月十八日	その他：大雨	吉統記	増補史料大成 30	雨下、霖雨、匪直也
1289年	10月20日	正応二年	九月二十八日	防災：その他	吉統記	増補史料大成 30	今日被行止雨奉幣…霖雨事、置仙洞先日被下御ト云々
1291年	5月14日	正応四年	四月八日	火災	和漢合符	日本災異志	八坂塔火
1291年	6月19日	正応四年	五月十五日	防災	実躬卿記二	大日本古記録	今日有祈雨奉幣事
1291年	6月20日	正応四年	五月十六日	洪水：その他	実躬卿記二	大日本古記録	抑此間霖雨、仍洪水、四条橋落了、
1291年	7月20日	正応四年	六月十六日	その他：大雨	実躬卿記二	大日本古記録	自寅刻雨降…暴風深雨終日終夜也、土民等之散愁色歟、珍重々々
1292年	5月8日	正応五年	四月十三日	地震	実躬卿記二	大日本古記録	暁関東大地震、及数刻之間、將軍御所并若宮ヨリ始天、至在家民屋等、多以破損、人又多死去之由風聞、山・岸等又散々、凡非所及言語云々、先代未聞珍事也、元暦元年歟、有如此事歟、凡不可説々々々云々
1292年	7月10日	正応五年	六月十八日	防災：疫病	師守記四 - 一三六	史料纂集	於南殿、事今日限三ヶ日、被転読大般若御読経、依天下疾疫
1292年	7月16日	正応五年	六月二十四日	防災：疫病	師守記四 - 一三六	史料纂集	依天下病事御祈、被立七社奉幣使、…
1292年	11月6日	正応五年	九月十九日	火災	和漢合符	日本災異志	延暦寺火、山門大講堂已下焼亡
1292年	6, 7月 (6.23-8.20)	正応五年	六月	疫病	師守記四 - 一三六	史料纂集	被行四角四堺御祭、依世間病事也、
1293年	5月27日	永仁一年	四月十三日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	寅刻大地震、山頽（クツレ）、人屋顛倒、死人二万三千卅四人云々〈関東分也〉、大慈寺顛倒云々、同日建長寺炎上
1293年	8月12日	永仁一年	七月二日	防災：旱魃・渇水	伏見天皇宸記	増補史料大成 3-321	〔 〕微雨降〔 〕日炎早涉旬、仍此間仰阿闍梨七人、令修水天供〔 〕行景令掃除神泉池、此等之効験歟、尤可貴、
1293年	8月14日	永仁一年	七月四日	防災：旱魃・渇水	伏見天皇宸記	増補史料大成 3-322	参内侍所、祈申勅使無為無事之由、并炎旱等事、
1293年	8月18日	正応六年	七月八日	地震	伏見宮家文書	鎌 24-18241	〔伏見天皇宸筆宣命案〕…正月元日与り地震連々、去月にも兩度に及べり、術家乃所奏呂畏途多端之、加之須、変異〔 〕仁示て、妖怪無休之、炎旱剥涉旬日て、黍穡更不豊稔須…抑近曾京洛の間仁、病患常聞、民庶不安須、如此乃厄難をも、同久
1293年	8月23日	永仁一年	七月十三日	その他：大雨	伏見天皇宸記	増補史料大成 3-324	雷数声、申刻雨降、□溜頻落程也、及晩止、近日是程雨猶不降、今日当勅使参宮日、降雨尤可貴、
1293年	8月30日	永仁一年	七月二十日	防災：旱魃・渇水	伏見天皇宸記	増補史料大成 3-325	八社〈伊勢…〉奉幣也、炎旱事、…

西 暦		和 暦		主題分類	原出典	掲載書誌	天変地異などの記事
1294年	2月21日	永仁二年	一月十八日	旱魃・渇水	松尾寺文書	荘園史資料 P236	〔僧良祐等六名連署状〕松尾寺与池田田庄上方箕田村沙汰人名主百姓等契約事、／右子細者、承元年中、令建立梨子本池、自河以西令耕作処、彼池水不足之間、年々令早損者也、然間、申請当寺領山林荒野等、例建立新池、以彼流水、助早田、且令開発新田、三町寄進于当寺、以彼為供
1295年	1月30日	永仁三年	十二月十五日	火災	一代要記	日本災異志	醍醐寺火
1295年	6月15日	永仁三年	四月二十四日	冷害・雪害	如是院年代記	新校郡書類 従 20-P262	雨雹、
1295年	10, 11月 (10.17-11.15)	永仁三年	九月	その他：風害	合符	日本震災凶謹攷	大風
1295年	8, 9月 (8.19-9.17)	永仁三年	七月	その他：風害	合符	日本震災凶謹攷	大風
1295年	8, 9月 (8.19-9.17)	永仁三年	七月	その他：風害	如是院年代記	新校郡書類 従 20-P262	七、八、九月大風
1295年	9, 10月 (9.18-10.16)	永仁三年	八月	その他：風害	合符	日本震災凶謹攷	大風
1296年	4月11日	永仁四年	三月	火災	皇年代略記	日本災異志	三島神社焼亡
1296年	10月3日	永仁四年	八月二十八日	火災	帝王編年記	日本災異志	安楽寿院法華堂火
1297年	5月17日	永仁五年	四月十八日	火災	帝王編年記	日本災異志	富小路内裡火
1298年	11月1日	永仁六年	九月十九日	火災	歴代皇紀	日本災異志	延暦寺火
1300年	7月5日	正安二年	六月十日	防災：疫病	師守記四 - 一三六頁	史料纂集	今日依世間病事、被行四角四（堺）御祭云々
1300年	7月17日	正安二年	六月二十二日	防災：疫病	師守記四 - 一三六頁	史料纂集	被立伊勢以下五社奉幣使、依天下病事也
1302年		正安四年		旱魃・渇水	続史愚抄	旱魃霖雨史料	春夏間…及炎旱
1302年	7月24日	正安五年	六月二十日	風害：その他	師守記五 - 四八頁	史料纂集	天陰雨降、寅剋已後吹風、辰剋已後大風、所々大木令吹折之、巳剋止風、雨聊止了、
1302年	7月25日	正安五年	六月二十一日	洪水：その他	師守記五 - 四八頁	史料纂集	自夜雨降、終日甚雨、以外洪水云々、
1302年	7月27日	正安五年	六月二十三日	防災：大雨	師守記五 - 四九頁	史料纂集	今日可被発遣止雨二社奉幣使、
1302年	8月2日	正安五年	六月二十九日	その他：大雨	師守記五 - 七二頁	史料纂集	寅剋已後雨降、終日不休、此間民庶乞雨之処、降雨、神妙云々、
1302年	8月21日	正安五年	七月十九日	地震	師守記五 - 八六頁	史料纂集	未剋大地震、
1302年	9月5日	正安五年	八月五日	風害：その他：大雨	師守記五 - 九一頁	史料纂集	天陰、時々雨降、申剋已後風吹、酉剋大風、入夜甚雨大風、民屋多以吹破云々
1302年	9月6日	正安五年	八月六日	風害	師守記五 - 一〇三頁	史料纂集	今朝吹破所々、被加修理、
1302年	10月4日	正安五年	九月五日	洪水：風害	師守記五 - 一四八頁	史料纂集	依今月五日大風洪水、彼松木顛倒之刻、正殿良方葺萱并瑞垣及御門等破損之間…
1305年	5月8日	嘉元三年	四月六日	地震	武家年代記裏書	続史料大成 18	卯剋大地震
1305年	11月1日	嘉元三年	十月六日	その他	東寺百合い	鎌 29-22358	〔東寺評定事書〕一、山城国損亡事、十月六、為検地差下維那法師…
1309年		延慶二年		その他：風害	和漢合符	日本の気象史料	是歳諸国大風
1311年	5月19日	応長一年	四月二十二日	洪水：その他	花園天皇宸記	増補史料大成 2-12	天陰雨下…今日止雨奉幣也、吉田祭依洪水延引、
1311年	5月22日	延慶四年	四月二十五日	防災：疫病	園太暦	総覧 5-586、鎌倉時代医学史の研究	疾疫流行により九社に奉幣
1312年	10月26日	正和一年	九月十七日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-34	天陰降雨、及晩大雷鳴、七条辺霹靂云々、
1313年	4月10日	正和二年	三月六日	その他：大雨	花園天皇宸記	増補史料大成 2-42	天晴、及晩天陰暴雨、子剋地震有音、